

我が国に多いがんに対する診療機能

記載の有無 あり  
※表紙①に反映されます

病院名: 那須赤十字病院

期間: 平成26年10月1日現在

※原発集に記載すること。

1. 肺がん

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法			光線力 学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーして ください	掲載されている内容				
				開胸 手術	胸腔鏡 下手術		体外 照射	定位 放射線 療法				小線源 治療	治療内容	治療実績	医師の 専門 分野	
1 呼吸器内科	5	5	状況	×	×	○	×	×	×	×	気管支鏡に加え超音波内視鏡を用いた検査にて診断を行っております。治療に関しては、化学療法を中心に分子標的薬や放射線治療、入院せずに外来での化学療法も行っております。手術適応の際は、呼吸器外科と連携をとっております。また病態に応じた在宅酸素療法や緩和ケアも行っております。 肺がんに対しては、胸腔鏡を併用した小開胸(8~10cm)以下での手術方法で行っています。胸腔鏡による手術は安全な症例に限定して行います。診断が未確定な症例に対しては、画像的に肺がんを強く疑えば十中診断によって適応を決定しております。画像のみによる肺がんの診断率確定は約95%以上です。	ア	内科 呼吸器内科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/intemal_medicine.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/intemal_medicine.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
2 呼吸器外科	2	2	状況	○	○	○	×	×	×	×	当科では、疾患あるいは病態に応じてきめ細かな治療を心がけています。当院にない治療機器に関しては、大学病院と連携を行っています。	ア	呼吸器外科 <a href="http://nasu.jrc.or.jp/respiratory_tract.html">http://nasu.jrc.or.jp/respiratory_tract.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
3 放射線科	2	2	状況	×	×	×	○	×	×	×	当科では、疾患あるいは病態に応じてきめ細かな治療を心がけています。当院にない治療機器に関しては、大学病院と連携を行っています。	ア	http://	掲載なし	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
4			状況									ア	http://			
			実績									イ	http://			
5			状況									ア	http://			
			実績									イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況  
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

例: 肺がん  
 昨年の治療実績ありの疾患名  
 ※平成25年1月1日～12月31日  
 肺がん

2. 胃がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可 / ×:実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
	主な診療科名(5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		内視鏡的治療		化学療法	放射線療法			光線力学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
				開腹手術	腹腔鏡下手術	EMR	ESD		体外照射	治療内容				治療実績	医師の専門分野		
1	消化器内科	4	4	状況	×	×	○	○	○	×	×	外科・放射線科と密接に連携し、早期の胃がんは内視鏡的な治療を検討し治療をすすめます。また化学療法も行います。	ア	内科 消化器内科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/internal.medicine.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/internal.medicine.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績	なし	なし	あり	あり	あり	なし	なし		イ	http://			
2	外科	9	9	状況	○	○	○	○	○	×	×	早期の胃がんに対しては、まずおなかを切らずに内視鏡のみで治療が完結できるEMRやESDを考慮し、それで取りきれない場合に手術を考慮します。手術を行う場合でも腹腔鏡を用いたり。なるべく小さな創で手術を行うように努めています。	ア	外科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/surgery.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/surgery.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
				実績	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし		イ	http://			
3	放射線科	2	2	状況	×	×	×	×	×	○	×	当科では、疾患あるいは病態に応じてきめ細かな治療を心がけています。当院にない治療機器に関しては、大学病院と連携を行っています。	ア	http://	掲載なし	掲載なし	掲載なし
				実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		イ	http://			
4				状況									ア	http://			
				実績									イ	http://			
5				状況									ア	http://			
				実績									イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 胃がん 胃がん
------------------------------------	---------------

3. 大腸がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可 / ×:実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日									各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名(5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		内視鏡的治療		化学療法	放射線療法		光線力療学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容				
				開腹手術	腹腔鏡下手術	EMR	ESD		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	消化器内科	4	4	状況	×	×	○	○	○	×	×	×	外科・放射線科と密接に連携し、早期の大腸癌は内視鏡的な治療を検討し治療をすすめます。また進行がんには、化学療法も行います。	ア	内科 消化器内科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/internal.medicine.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/internal.medicine.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	あり	あり	あり	なし	なし		イ		http://				
2	外科	9	9	状況	○	○	○	○	○	×	×	×	早期の大腸がんに対しては、まずおなかを切らずに内視鏡のみで治療が完結できるEMRやESDを考慮し、それで取りきれない場合に手術を考慮します。手術を行う場合でも腹腔鏡を用いたり。なるべく小さな創で手術を行うように努めています。	ア	外科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/surgery.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/surgery.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし	イ		http://				
3	放射線科	2	2	状況	×	×	×	×	×	○	×	×	当科では、疾患あるいは病態に応じてきめ細かな治療を心がけています。当院にない治療機器に関しては、大学病院と連携を行っています。	ア	http://			
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	イ		http://				
4				状況										ア	http://			
			実績											イ	http://			
5				状況										ア	http://			
			実績											イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例:結腸がん、直腸がん、肛門管がん 結腸がん、直腸がん、肛門管がん
------------------------------------	--------------------------------------

4. 肝がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可 / ×:実施不可) / 昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日～12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名(5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	穿刺療法		TACE/TAE	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容				
						RFA	PEIT		体外照射	定位放射線療法			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	消化器内科	4	4	状況 実績	× なし	○ あり	× なし	○ なし	× なし	× なし	× なし	定期的な画像診断によれ早期発見に努めています。治療は最新のガイドラインに沿って、肝切除術(外科)、経皮的ラジオ波焼灼術(RFA)、肝動脈塞栓術(TAE)などから、個々の患者様に最適な治療法を選択します。患者様の状態によってはこれらを組み合わせた集学的治療で取り組みます。	ア イ	内科 消化器内科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/internal.medicine.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/internal.medicine.html</a> http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
2	外科	9	9	状況 実績	○ あり	○ なし	× なし	○ なし	× なし	× なし	× なし	手術(肝切除)、ラジオ波焼灼療法(RFA)、経カテーテル肝動脈化学塞栓療法(TACE)、分子標的薬(ネクサバル)などの治療を他科連携のもと、エビデンスに基づき、患者様の病態や希望に応じて適切に選択し実施しています。	ア イ	外科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/surgery.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/surgery.html</a> http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
3	放射線科	2	2	状況 実績	× なし	× なし	○ あり	× なし	○ あり	○ なし	× なし	当科では、疾患あるいは病態に応じてきめ細かな治療を心がけています。当院にない治療機器に関しては、大学病院と連携を行っています。	ア イ	http:// http://	掲載なし	掲載なし	掲載なし
4				状況 実績									ア イ	http:// http://			
5				状況 実績									ア イ	http:// http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例:肝がん 肝がん
------------------------------------	--------------

5. 乳がん

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん  
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。  
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制  
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし ○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可 / ×:実施不可) / 昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
	主な診療科名(5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術			化学療法	放射線療法		冷凍凝固摘出術		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
				乳房切除	乳房温存	乳房再建		体外照射	小線源治療				治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	外科	9	3	状況	○	○	×	○	×	×	×	薬物療法(抗がん剤、ホルモン剤、分子標的薬)、手術(乳房温存から胸筋合併切除、センチネルリンパ節生検から腋下郭清)、乳房再建(人工物または自家組織)、放射線療法などの治療を他科との連携のもと、エビデンスに基づき、患者様の病態や希望に応じて適切に実施しています。	ア	外科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/surgery.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/surgery.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	あり	あり	なし	あり	なし	なし	なし	イ		http://				
2	形精外科	3	3	状況	×	○	○	×	×	○	×	当科では患者様の立場に立って診療を行っております。	ア	形成外科 <a href="http://www.nasu.jrc.or.jp/formation.html">http://www.nasu.jrc.or.jp/formation.html</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	イ		http://				
3	放射線科	2	2	状況	×	×	×	×	○	×	×	当科では、疾患あるいは病態に応じてきめ細かな治療を心がけています。当院にない治療機器に関しては、大学病院と連携を行っています。	ア	http://	掲載なし	掲載なし	掲載なし
			実績	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし	イ		http://				
4				状況									ア	http://			
			実績										イ	http://			
5				状況									ア	http://			
			実績										イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:乳がん 乳がん
------------------------------------	--------------